



いしかわ歴史遺産

Ishikawa Historical Heritage

いしかわ歴史遺産とは…

「いしかわ歴史遺産」は、全国に本県の魅力を発信し、観光誘客や地域活性化を図ることを目的として、世代を超えて受け継がれている歴史、伝承、風習や有形・無形の文化財をそれぞれ関連づけ、その魅力をわかりやすく説明したストーリーです。

県では、日本遺産と同様に平成27年度から東京オリンピック・パラリンピック開催までの5年間で認定期間とし、これまで14件のストーリーを認定しました。

認定ストーリー



○三つの寺院群と茶屋街
～歩く・観る・祈る～ (金沢市)



○七尾城が語る
「能登の戦国都市物語」 (七尾市)



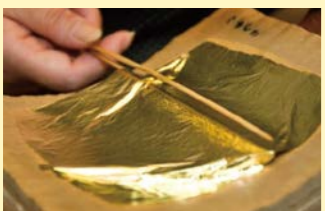
○平安の世の歴史物語が息づく
歌舞伎のまち・小松 (小松市)



○平家の末裔 時国氏の繁栄
(輪島市)



○「漂着神(ヨリガミ)」の聖地～日本海交流が伝える祈りと祭りの文化財めぐり～ (羽咋市・志賀町・宝達志水町)



○きらめきに包まれるまち～今に息づく金沢の金箔～ (金沢市)



○加賀の白山と水の文化
(白山市)



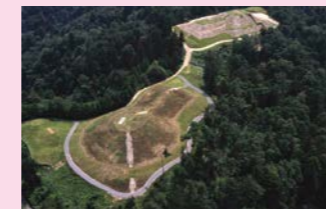
○能登半島を彩る深紅の花～のとキリシマツツジ古木群～
(七尾市・輪島市・珠洲市・羽咋市・志賀町・宝達志水町・中能登町・穴水町・能登町)



○能登国府を探る
～能登立国1300年～ (七尾市)



○能登の禅の古刹と古道を歩く～永光寺から總持寺へ～ (輪島市・羽咋市)



○能登の王墓～半島を舞台に躍動したトの王～ (羽咋市・志賀町・中能登町)



○大聖寺十萬石城下町～江戸時代の町絵図で歩ける町～ (加賀市)



○いにしへの記憶をたどる道～俱利伽羅峠～ (津幡町)



○能登の山岳信仰の霊場～石動山と山麓の歴史遺産～ (中能登町)



詳しくは、いしかわ歴史遺産のホームページをご覧ください

<https://www.hot-ishikawa.jp/ishikawa-rekishiisan/>

お問合せは、石川県教育委員会事務局文化財課 (076-225-1844) まで

教育

たいあつぷ

No.46
2020
2月



いしかわ教育の日 シンボルマーク
発行・編集/石川県教育委員会
金沢市鞍月1-1
TEL(076)225-1811
<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/index.html>

小・中・高等学校における英語教育の充実

新学習指導要領における外国語教育については、小学校では、3・4年生で外国語活動、5・6年生で新たに教科としての「英語」が実施され、中学校では、授業は英語で行うことを基本とし、双方向のコミュニケーションが重視されます。また、高等学校では、「聞く」「読む」「話す(やり取り・発表)」「書く」の4技能(5領域)をバランスよく育成することとされています。

石川県教育委員会では、平成29年度から、県内の小学校12校、中学校6校を拠点校に指定し、新学習指導要領の内容を踏まえた英語の授業を先行的に実施するなど実践研究を進めてきました。

今年度からは、新たに金沢大学と連携し、さらなる英語教育の充実に取り組んでいるところであり、今後も、こうした取組を通じて、児童生徒の英語力の向上を図っていきます。

新学習指導要領

小学校：令和2年度から
中学校：令和3年度から
高等学校：令和4年度から
(学年進行)

1 大学教授による指導・助言

金沢大学の教授が実際の授業を見て、指導法や評価法の改善に向け、直接、指導・助言を行いました。教員からは、「授業づくりについて、今後の改善の方向性が見えた」などの意見があり、各学校の授業改善、指導力向上につながっています。

金沢大学教授による指導・助言



2 英語フォーラムの開催

昨年11月に、県内の公立全小・中学校の英語教育担当者等を対象に、英語フォーラムを開催しました。拠点校での効果的で優れた取組を普及することを目的として、金沢大学の教授と拠点校の教員によるパネルディスカッションや金沢大学の教授による「言語活動を通じたコミュニケーション能力の育成」についての講演を行いました。

英語フォーラム



3 金沢大学の留学生の参加による授業の実施

児童生徒と金沢大学の留学生が英語でのインタビューやディスカッションなどを通して、積極的にコミュニケーションをとることで、児童生徒の英語に対する学習意欲を高めるよい機会となりました。

留学生と英語でのコミュニケーション



キャリア教育の充実に向けて

～「キャリア・パスポート」の取組が始まります～



今年4月より、小学生から高校生まで一斉にキャリア・パスポートの取組が始まります。

石川県教育委員会では、キャリア・パスポートの参考例を示し、各市町教育委員会や学校が、それぞれに工夫を加えて活用することになっています。

キャリア・パスポートとは



子どもたちが、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる様々な活動について、学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのことです。

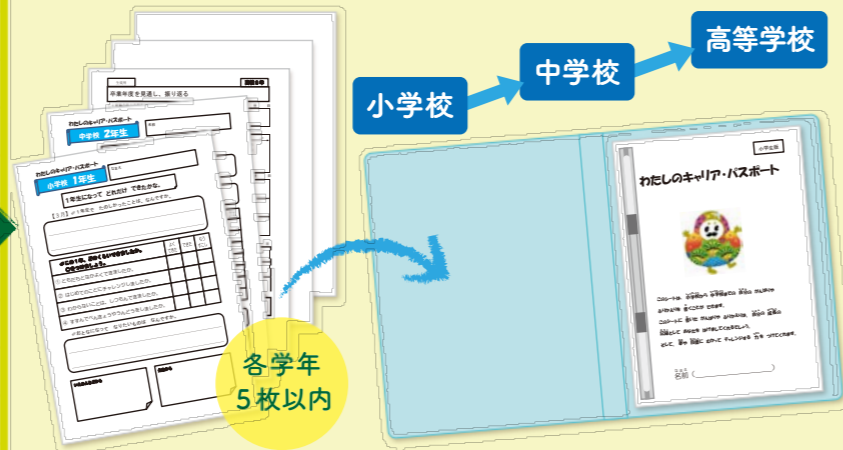
※ポートフォリオ: レポート、ワークシート、振り返り、感想など学習の成果をまとめて綴ったもの

日常の授業や行事等の記録



教科のワークシート、学校行事の記録など日常の記録の蓄積

学校生活全体、これまでの生活等を振り返り、これからの生き方を見通す記録



学期や年間、入学から卒業までを見通し、振り返る記録

1冊のファイルに綴じて、小学校から高等学校まで持ち上がる

小学校入学から高校卒業までの12年間の記録を1つのファイルに綴り、小学校から中学校、高校へと引き継いでいくことで、校種を越えた振り返りや社会生活への見通しを立てることにつながります。

キャリア・パスポートは、児童・生徒にとっては自己理解を深めるツールであり、教員・保護者にとっては、子どもへの理解を深めるツールとなります。子どもたちが学ぶことの意義を実感し、能力を伸ばしていくためには、家庭や地域の方々も含め、様々な立場から子どもたちや学校に関わる大人の助けが必要です。保護者の方にもメッセージの記入をお願いすることもあります。

新学習指導要領では、学ぶことと自分の将来とのつながりを意識しながら、学習を進めていくことができるよう、各教科等の特質に応じてキャリア教育の充実を図るために、子どもたちが活動を記録し蓄積する教材等を活用することとされており、その取組として、キャリア・パスポートを活用していきます。



部活動指導員 が活躍しています!

石川県教育委員会では、平成30年度より市町と連携し、部活動指導員を配置しており、今年度は中学校で70名、高校で9名が指導しています。

部活動指導員は、競技経験が少なかったり、業務多忙で時間外勤務が多くなっている顧問に代わり、専門的な指導ができる教員OBや外部の方に、単独で部活動を指導していただくものです。

生徒が専門的な実技指導を受けることができるようになるとともに、教員の授業準備や生徒と向き合う時間の確保にもつながっており、今後も部活動指導員の取組により、部活動の充実に向けて努めていきたいと考えています。



七尾中学校ソフトテニス部



鶴来中学校剣道部

生徒の声

- ・専門的な指導が受けられてうれしい
- ・指導がわかりやすい
- ・以前より試合で勝てるようになった など

顧問教員の声

- ・生徒は専門的な指導を受けられて喜んでいる
- ・生徒が上達したように思う
- ・授業準備の時間が確保できるようになり、時間外勤務の減少につながった など



松波中学校相撲部



南部中学校サッカー部

子どもふるさと博士講座

君も、金沢城博士になろう!



石川県教育委員会では、今年度より、石川の歴史・文化・産業等についての体験的な学びを通して、子どもたちのふるさとへの誇りや愛着を育むための「子どもふるさと博士講座」を開催しています。

今年度は「金沢城」をテーマに、夏休み期間中の5日間で実施し、約60名の子どもたちが楽しみながら学びました。

対象: 小学4年生~中学生

会場: 金沢城公園及び生涯学習センター

第1回	金沢城ってどんなお城? 開講式・お城の役割・古文書を書いてみよう
第2回	金沢城公園の見どころツアー 石川門・河北門・五十間長屋など
第3回	加賀藩主になろう 玉泉院丸庭園・抹茶体験・ペーパークラフト
第4回	石垣の博物館・金沢城 石垣クイズラリー
第5回	クイズ「金沢城」・閉講式



第1回 金沢城ってどんなお城?



第3回 抹茶体験



第4回 石垣クイズラリー

子どもたちの感想

石垣の積み方の種類が多くて驚いた!

歩いて調べることやクイズを解いていくのが楽しかった!

金沢城のことを沢山知れてよかった! 夏休みの自由研究にも使えた!

令和2年度も「金沢城」をテーマとして開講します。
【5月中旬申込開始予定】

君の参加を待ってるよ!



お問い合わせは石川県立生涯学習センターまで (TEL:076-223-9572)